

MOMO肝通信

岡山大学病院肝疾患診療連携拠点病院活動見学

武蔵野赤十字病院 高橋美樹

他県の拠点
病院から
見学に！

平成29年5月25日に、岡山大学病院肝炎相談センターへ伺いました。

以前から“MOMO肝通信”を拝読し、出張肝臓病教室に対して興味を持っており、その同行をメインに岡山大学病院の活動内容を伺うことができました。出張先の講演内容は、その企業の希望を取り入れ決定されるとのことで、他の疾患においても専門看護師の話が聞ける場となることを伺いました。

このパワフルな活動を継続できる源は、チーム内のコミュニケーションの良さと、同じ方向に皆さまが向かって活動できていることなのだと言及致しました。“出張肝臓病教室”と“無料肝炎ウイルス検査”は、数年かけて地道な努力を重ねて成果を出されていること、センター内のスタッフを中心に活動の輪を広げて努力をされていることなどが伝わってきました。武蔵野赤十字病院においても肝臓病教室の運営を見直す良い機会となり、大変実のある見学となりました。大変気さくな池田先生、熱意あふれる難波さん、気配り上手な犬山さん、亀川さんとほかの皆様には、大変お忙しい中対応して下さい感謝申し上げます。

岡山大学病院は県内/県外の市町村や病院と連携した
肝炎啓発活動を推進しています

肝炎検診イベント 北木島運動会

岡山大学病院 消化器内科 足立卓哉

2017年5月28日、北木島で肝炎検診イベントを行いました。笠岡諸島の住民の方々が集う島の大運動会で、肝炎ウイルス検査を行うことの重要性をアナウンスし、実際に124人の住民の方が、検査の必要性を理解いただき、採血コーナーに訪れていただきました。炎天下のなか、島の住民の方々の元気な姿に刺激を受けつつ、こちらもあるべく多くの方に検査のことを知っていただこうと奮闘しました。幸い、当院スタッフも熱中症で倒れることなく、イベントを遂行できたことは良かったと思っています。笠岡諸島の住民など、島に暮らしている方々は医療機関も身近にあるわけではないため、今回のような検査をきっかけに肝炎ウイルス陽性者が見つかることも多いと考えます。今後もこうしたイベントを通じて、肝炎ウイルス治療につなげ、少しでも肝不全、肝癌患者を減らせるように努力して参りたいと思います。



三豊総合病院まつり2017

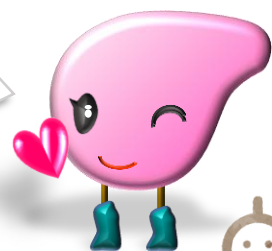
三豊総合病院 消化器科 守屋昭男

一生に一度は肝炎ウイルス検査をということで無料検診の制度が整えられていますが、就学・就業されている方にとって平日・日中には医療機関を受診しにくいと思われます。今年で3回目となる三豊総合病院まつりにはこれまで多数の方々にご来場いただいておりますので、これにあわせて肝炎ウイルス検査を行うことで効率よく多くの住民の方々に受検頂けるのではと考え、「無料肝炎ウイルス検査 in 三豊総合病院まつり2017」として企画いたしました。当日は148名が検査希望にて受付され、当院肝炎ウイルス検査歴を確認した上で90名が採血検査を受けられました。結果としては全員抗体陰性で患者掘り起こしとはなりませんでした、ウイルス性肝炎啓蒙の一助にはなったのかもしれませんが。来年も続けようかな～...などと検討中です。また、今回、岡山大学病院、香川県立中央病院からもお手伝いいただき、経験豊富なスタッフに助けられてつつがなくイベントを終えることができました。この場をお借りし御礼申し上げます。どうもありがとうございました。



第13回 院内肝臓病教室 家族支援講座

院内肝臓病教室では、肝臓についての講義と家族支援講座を行っています。第13回目を迎えた今回の講義内容をご紹介します。興味を持たれた方はお気軽に肝炎相談センター(086-235-6851)までお問い合わせ下さい。



ウイルス性肝炎撲滅の時代、でも・・・

消化器内科 安中 哲也

5月16日に第13回院内肝臓病教室を開催しました。今回のテーマは毎年取り上げている「B型肝炎、C型肝炎」でした。これらの疾患はここ数年でどんどん新しい薬が登場しており、特にC型肝炎については多くの患者さんのウイルス排除に成功しております。こういった背景のためか、今回の肝臓病教室にお越しいただいた人数はやや少なめでした。しかしウイルス治療後も肝臓癌などのリスクは残っており、通院や検査を続けることがとても重要です。ご参加下さった皆様からは多くのご質問もいただき、大変に有意義な会となりました。

ウイルス性肝炎と食事療法

臨床栄養部 長谷川祐子

ウイルス性肝炎は薬物治療が基本ですが、肝硬変に移行した場合は食事療法が必要です。代償期であればバランスの良い食事に心がけます。肝機能低下に伴い、肝臓の線維化とともに鉄が増加する場合は鉄制限食をします。非代償期に移行後は、①食事のたんぱく質を制限し分岐鎖アミノ酸(BCAA)製剤で補います。②便秘にならないように野菜を十分摂ります。③腹水のある場合は食塩制限をします。④食道静脈瘤があれば食材を軟らかくし魚の骨に気をつけるなど、食道を傷つけない食事にします。⑤免疫力が低下している時は、生卵や夏場の生魚に注意が必要です。⑥就寝前軽食(LES)も勧められています。大切なのは肝臓の状態にあった食事にすることです。

知っているとお得かもしれない フォローアップ事業

肝炎相談センター 犬山 奈穂美

肝臓病教室に引続き、家族支援講座があり「知っているとお得かもしれない」と題し、フォローアップ事業についてお話をしました。一言で肝炎陽性者フォローアップ事業について、と言われても？？となられるのは当然でして、制度(申請等手続き)について簡潔に、少しでも解りやすくお話をしたつもりですが、短時間ではなかなか理解は難しいので、フォローアップ事業に関わらず、相談センターに来て相談して頂けたらと思いました。

職域での出張肝臓病教室と同時開催の肝炎検診の意義

論文が【肝臓】に
掲載されました

新医療研究開発センター 難波志穂子

2015年10月から肝疾患サポートチームは企業や就労団体に出張し出張肝臓病教室を開催しています。出張肝臓病教室でウイルス肝炎の啓発を行うことで、職域における肝臓病に関する差別や偏見の問題解決や肝炎検診受検数の増加、検査陽性者が専門機関をスムーズに受診出来る職場の理解につながるかを調査しました。また、出張肝臓病教室と同時に肝炎検診を実施した意義について検証し、日本肝臓学会から発行される雑誌「肝臓」に掲載されました。最近では、岡山市こころの健康センターや岡山県肝炎一次専門医療機関、ピロリ菌を専門にする医療職、他県の拠点病院など、様々な地域や領域と手を取りあい、活動が一層拡大しています。多くの方々のご協力があって実現されている事業だと実感しています。今後ともお力添えをよろしくお願いします。

岡山湯郷ベル選手への出張肝臓病教室に参加して

田尻病院 臨床検査技師 金藤千晶

地元・湯郷ベルの選手の皆さんを対象に肝臓病教室と肝炎ウイルス検査を行うので採血のお手伝いを、とお声がけをいただき、6月18日美作市のみまさかアリーナで開かれた出張肝臓病教室に参加させていただきました。

医療従事者でありながらお恥ずかしいことに不勉強で、無料で肝炎ウイルス検査ができること、またこのように出張して肝炎に関する知識を広め、意識を高めるための活動に取り組まれていることも、今回初めて知りました。

先生方のお話はとても分かりやすく、ベルの選手の皆さんはほとんどが若い女性でしたが、肝臓のこと、食事のこと、お酒のこと等、元気に生活していく上で気をつけたいことなどよく理解されたことでしょう。

病院で行っている患者さまのための検査とは違う、健康な方々の肝炎を発見するための検査。このように意義深い活動に携わらせていただくのは、たいへん貴重な経験でした。

早期治療開始のチャンスを、多くの方々が得られますように。また機会がありましたら、微力ながらお手伝いさせていただきます。今後のスタッフのみなさまにはますますご活躍いただきますようお祈りいたします。ありがとうございました。

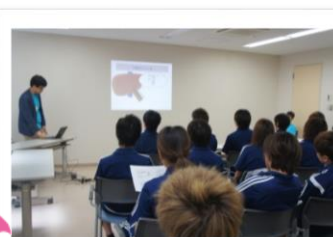
【ジメンシー】のご紹介

薬剤部 槇田崇志

今回は、本年2月より販売が開始されたC型肝炎ウイルス治療薬ジメンシー®配合錠をご紹介します。ジメンシー配合錠は既に発売されているダクルインザ錠とスンペプラカプセルの成分と新規成分のベクラブビル塩酸塩の3つの成分を1錠に配合したお薬です。ベクラブビル塩酸塩を配合することで、ダクルインザ錠とスンペプラカプセルに耐性をもつウイルスに対しても有効性が認められました。

飲み方は1回2錠を1日2回食後に12週間服用します。副作用として、肝障害や発熱などが報告されているため、定期的に病院を受診し血液検査の値を確認しながら治療を受けることが重要です。

飲み合わせが悪い薬もありますので、健康食品を含めて使用している薬については医師、薬剤師にお伝えください。



肝疾患診療連携並びに肝炎医療コーディネーター活動についての意見交換会を開催

医事課 亀川 勝典

平成29年5月30日及び31日に厚生労働省の肝炎研究班による【肝疾患診療連携並びに肝炎医療コーディネーター活動】についての意見交換会が行われました。

会では、佐賀大学 江口教授が代表されている肝炎研究班の先生方から、県内の行政（岡山県）、医師、保健師、愛育委員等の職種別にコーディネーターの養成状況、地域特性、取り組み方法等について聴き取りが行われ、その特徴や問題点について意見交換を行いました。

意見交換後、肝炎研究班の先生方からは、岡山県の特徴として「肝炎サポーター研修会」への取り組みが挙げられ、他県にはない方法が非常に興味深く、これからの肝炎医療コーディネーターの養成を進める良い情報を得た、とのうれしいご意見を頂きました。今後の肝炎対策への励みとなる、実のある会となりました。





肝炎医療コーディネーターは肝炎患者や肝炎ウイルス検査陽性者等が適切な肝炎医療や支援を受けられるように、医療機関、行政機関その他の地域や職域の関係者間の橋渡しを行うとした今年4月の厚生労働省の通知を受けて、肝炎医療コーディネーターの役割や活動内容、その育成方法を現在検討中の都道府県が多いです。そこで、平成29年6月10日に中国・四国地区のすべての拠点病院の肝炎診療に携わる方々に参加いただき、各県の肝炎医療コーディネーター活動など現在の拠点病院事業の状況について意見交換を行いました。肝炎医療コーディネーター育成用テキストブックの共同作成や世界肝炎DAYイベントの合同開催など、中国四国地区の拠点病院が連携して肝炎診療を行うための今後につながる様々な企画が話し合われました。



活動報告

●イベント

5/14 三豊総合病院（香川県立中央病院主催、岡山大学病院共催）（池田、難波）

5/28 笠岡市島連合運動会にて無料肝炎ウイルス検査実施（北木島）（池田、安中、大山、足立、難波、大久保、大西、足田、亀川、犬山、山崎）

●研修会・協議会等

5/25 武蔵野赤十字病院の看護師が岡山大学病院を見学、出張肝臓病教室に同行（池田、難波、犬山、亀川）

5/30 厚生労働省 江口研究班 ヒアリング

6/10 中国・四国地区 肝疾患診療連携拠点病院 肝炎医療コーディネーター情報共有会（池田、難波）

6/13 岡山県肝炎MAPセミナー（ピュアリティまきび）（池田、難波、安中、亀川、犬山、山崎）

●院内肝臓病教室

5/16 第13回肝臓病教室「ウイルス性肝炎撲滅の時代、でも・・・」第6回家族支援講座「知っているとお得かもしれないフォローアップ事業」（安中、長谷川、犬山）

●出張肝臓病教室

5/25（木）エバルス（池田、難波、犬山、亀川）

6/3（土）北川病院（大山、長谷川、蟻正）

6/18（日）湯郷ベル（下村、長谷川、留田）

採血にご協力いただいた肝炎専門一次医療機関の皆さまありがとうございました

岡山県肝炎マップセミナーについて

肝炎相談センター 山崎典子

岡山で新たに構築された岡山県肝炎マップについてのセミナーが6月13日ピュアリティまきびにおいて開かれました。

セミナー①首都大学東京 システムデザイン学部 准教授 渡邊英徳先生による「視覚的に伝えることの大切さ」、セミナー②岡山大学病院 消化器内科 助教 池田房雄先生による「ウイルス性肝疾患の最新治療」、セミナー③首都大学東京 システムデザイン学部 高田百合奈先生による「実際のマップを使っの相談業務紹介」の3題の講演がありました。参加者は23名で、岡山県健康推進課の職員、倉敷市、瀬戸内市の保健師さんなど自治体の方も来られ、実際にネットを使用した岡山の肝炎専門医療機関の検索方法などが紹介されました。岡山県の肝疾患対策において、その相談業務にかかわる人たちの有用なツールとしての役割が期待されます。

今後の予定

7月28日は
世界肝炎デー

●イベント

7/11（火）無料肝炎ウイルス検査イベント（倉敷市マスカットスタジアム）

7/18（火）～7/31（月）世界肝炎デーイベント（岡山大学病院外来棟1階にてパネル展示）

7/30（日）無料肝炎ウイルス検査イベント（岡山市シティライトスタジアム）

●院内 肝臓病教室・家族支援講座

8/15（火）14：00～

●協議会

岡山県肝炎対策協議会及び

岡山県肝疾患診療連携拠点病院等連絡

●出張肝臓病教室

7/7（金）15：00～ 京山公民館 愛育医員

8/22（火）12：00～ 高梁国際ホテル（株）共栄商事

この3つは
世界肝炎デー
企画です★

編集後記

これからとても暑い日々が続きます。
水分をこまめに摂り熱中症などに気を
つけましょう！（検査部 大久保）